

# JRIS

## 鉄道車両ーメラミン化粧板

JRIS J 0751 : 2008

(JARI)

平成 20 年 8 月 28 日 制定

日本鉄道車輛工業会規格審査会 審議

(社団法人 日本鉄道車輛工業会 発行)

日本鉄道車輛工業会規格審査会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	田 中 眞 一	財団法人 研友社
(委員)	河 合 篤	国土交通省 鉄道局
	宮 本 昌 幸	明星大学
	近 藤 圭一郎	千葉大学 大学院
	古 関 隆 章	東京大学 大学院
	岡 本 勲	財団法人 鉄道総合技術研究所
	新 井 静 男	東日本旅客鉄道株式会社
	加 藤 秀 一	東京地下鉄株式会社
	堀 江 富士雄	近畿車輛株式会社
	大 西 利 之	株式会社 東芝
	岡 方 義 則	住友金属工業株式会社
	溝 口 正 仁	社団法人 日本鉄道車輛工業会
(顧問)	井 口 雅 一	東京大学 名誉教授
(事務局)	下 村 孝	社団法人 日本鉄道車輛工業会

日本鉄道車輛工業会 基準整備委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	手 塚 和 彦	株式会社テス
(委員)	佐 藤 公 一	川崎重工業株式会社
	山 口 隆	日本車輛製造株式会社
	河 口 清	近畿車輛株式会社
	川 端 俊 夫	東急車輛製造株式会社
	尾 藤 千 秋	新潟トランス株式会社
	谷 督 次	三菱重工業株式会社
	和 嶋 武 典	株式会社日立製作所
	石 橋 尚 之	株式会社東芝
	塩 見 省 吾	三菱電機株式会社
	尾 崎 覚	富士電機システムズ株式会社
	潤 賀 健 一	東洋電機製造株式会社
	岡 方 義 則	住友金属工業株式会社
	藤 原 達 雄	ナブテスコ株式会社
	新 井 衛	日本信号株式会社
	島 添 敏 之	株式会社京三製作所
(顧問)	田 中 眞 一	財団法人 研友社
(鉄車工委員)	佐 藤 芳 彦	社団法人 海外鉄道技術協力協会
	溝 口 正 仁	社団法人 日本鉄道車輛工業会
	下 村 孝	社団法人 日本鉄道車輛工業会
	宗 像 政 美	社団法人 日本鉄道車輛工業会

制 定 : 社団法人 日本鉄道車輛工業会 会長

掲 示 : 鉄道車両工業 ; 工業会のホームページ : URL ; <http://www.tetsushako.or.jp>

発 行 者 : 社団法人 日本鉄道車輛工業会

(〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-2 NTT-TEL ; 03-3257-1901 NTT-FAX ; 03-3257-3200

審 査 : 日本鉄道車輛工業会規格審査会

作成委員会 : 当工業会基準整備委員会

この規格についての意見又は質問は、当工業会をお願いします。

なお、この規格は、原則として5年を経過する日までに確認、改正又は廃止されます。

## 目次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類及び構造	2
4.1 種類	2
4.2 構造	3
5 特性	5
6 材料及び製造方法	7
6.1 材料	7
6.2 製造方法	7
7 試験方法	8
7.1 一般試験条件	8
7.2 外観試験	8
7.3 耐煮沸性試験	8
7.4 耐汚染試験	9
7.5 耐光性試験	9
7.6 耐摩耗性試験	9
7.7 耐衝撃性試験	9
7.8 引っかき硬さ試験	9
7.9 耐屈曲性試験	9
7.10 耐クラック性試験	9
7.11 反り測定試験	10
7.12 耐燃焼性試験	10
7.13 その他の試験	10
8 試験	10
8.1 形式試験	10
8.2 受渡試験	10
8.3 調査試験	10
9 表示及び包装	11
9.1 表示	11
9.2 包装	11
附属書 A (参考) 化粧板の諸特性	12
附属書 B (参考) 化粧板取扱い時の注意	13

## まえがき

この規格は、主として内装材として用いられるメラミン化粧板に関する規格を“日本鉄道車輛工業会規格（以下、鉄車工規格という。）の制定に関する規程”の規定に則り“鉄車工規格審査会”の審議を経て、日本鉄道車輛工業会会長が制定したものである。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。会長及び鉄車工規格審査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

### JRIS “J シリーズ” 制定の背景

日本国有鉄道が制定した鉄道に関わる規格（JRS）は、1987（昭和 62）年の国鉄の分割民営化時点で、公的な効力が終了し、以後、この規格を維持管理する体制がなくなった。しかし、鉄道車両の分野においては、この JRS の規定内容を該当する仕様書又は図面中に再掲する方法で活用する例が数多くある。

そこで、鉄道車両の分野で、今後も継続して利用する可能性の高い JRS の内容は、現在の技術レベルでの見直しを行った後に、鉄車工規格として受け入れ制定・登録することとした。

この規格は、大部分は JRS をベースにしていなが、一部の試験方法を JRS の規定を踏襲しているため製品グループの番号を割り振っている。したがって、従来の JRS 番号との関連はない。

JRIS は、関係する技術分野に応じて五つに区分した体系で構成している。

この規格の“J シリーズ”のほかに、“D”、“E”、“R”及び“W”シリーズがある。

# 鉄道車両—メラミン化粧板

## Rolling stock—High pressure decorative laminate sheets

### 1 適用範囲

この規格は、熱硬化性樹脂高圧化粧板のうち、主として鉄道車両の内装部材に用いるメラミン化粧板（以下、“化粧板”という。）について規定する。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。西暦年を付記していない引用規格は、その最新版（追補を含む）を適用する。

**JIS A 0201** 建築用内外装材料用語

**JIS B 7751** 紫外線カーボンアーク灯式耐光性及び耐候性試験機

**JIS E 4001** 鉄道車両用語

**JIS H 4000** アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条

**JIS K 5600-5-4** 塗料—試験方法—第5部：塗膜の機械的性質—第4節：引っかき硬度（鉛筆法）

**JIS K 6900** プラスチック—用語

**JIS K 6902:2007** 熱硬化性樹脂高圧化粧板試験方法

**JIS K 6903:2007** 熱硬化性樹脂高圧化粧板

**JIS K 7162** プラスチック—引張特性の試験方法

**JIS K 7171** プラスチック—曲げ特性の試験方法

**JIS K 7204** プラスチック—摩耗輪による摩耗試験方法

**JIS K 7350-2** プラスチック—実験室光源による暴露試験方法 第2部：キセノンアーク光源

規格概要につき以下は省略する。